

奥会津 だより

2003年秋
第20号

恵みへの感謝



刈り上げ餅

昔の草原

秋の宝箱

目黒 奈緒さん(空山第一中)

奥会津つれづれ

秋は実りの季節だ。それはデパートの地下でも感じるけれど、自然が近くにはあるほど、日常の生活の中でより強く感じるこがてき。

たとえば、一年かけて育ててきたお米はもちろん、自然が思うままに実らせている「栗」や「くるみ」のような、つかみよのない自然の力で育てられた「実り」はやがて、手で触れ、目で感じ、舌で味わうことのできる多種多様なものを、私たちに与えてくれるものだ。それがこの季節だろう。

ごく最近、この仕事を始めてから知り合った方がじくなった。夏には川を下って、自然と遊ぶラフティングでも一緒に過ごすことができた私は、彼に出会えて本当に良かったと思っている。半年という時の流れの中で、自然の真っ只中で遊んだり、奥会津の様々な土地に目を向けること、自分なりに自然や文化についても意識するようになったのだと思う。

地元に戻ってきてから、今も変わらず思うことは、自分の時間と奥会津に流れる時間、二つの時間の中で、流れる季節を感じてみよう。

そして、こんなに遠くからだけれど、別の流れの中で生きつづけている彼についても、ゆっくり考える時間を、秋は与えてくれる。

(治)

TADAMI RIVER MUSEUM



ただみ川のものしり館

別称・ただみ川の歴史博物館

- 開館時間：10:00～16:00
- 入館料
- 大人300円/小・中生200円
- 休館日：毎月曜日・冬期間は閉館
- 南会津郡只見町大字
- 只見字町下2590番地
- Tel. 0241-83-1733
- Fax. 0241-83-1734



ZONE1

奥会津9町村の四季折々の姿をパネルで紹介。各町村の案内パンフも用意されている。

ZONE2

只見川の四季を移り変わりを映像で紹介するビデオルーム。

ZONE3

只見川源流の自然の姿を、水や樹木や魚で再現している。初夏の一日の変化を、音や光で体験できる。また、マルチメディア「只見の生きものたち」では、只見の動植物や昆虫の生態を調べることができる。

ZONE6

2階の一角はギャラリースペースとして、各種展示が催されていて、町民の発表の場ともなっている。



ZONE3

昔から川の恩恵を受けながら暮らしてきた奥会津の町と村。川の営みと人々の暮らしが、模型やマルチメディアを通して実感できる。2階のギャラリースペースでは、各種企画展が催され、地元の方々の発表の場ともなっている。

**ネイチャー
スクール
手づくり
体験教室**

手づくり体験教室は、子供たちの楽しい学びの場。おもちゃなどを作りながら只見川に触れることができる。



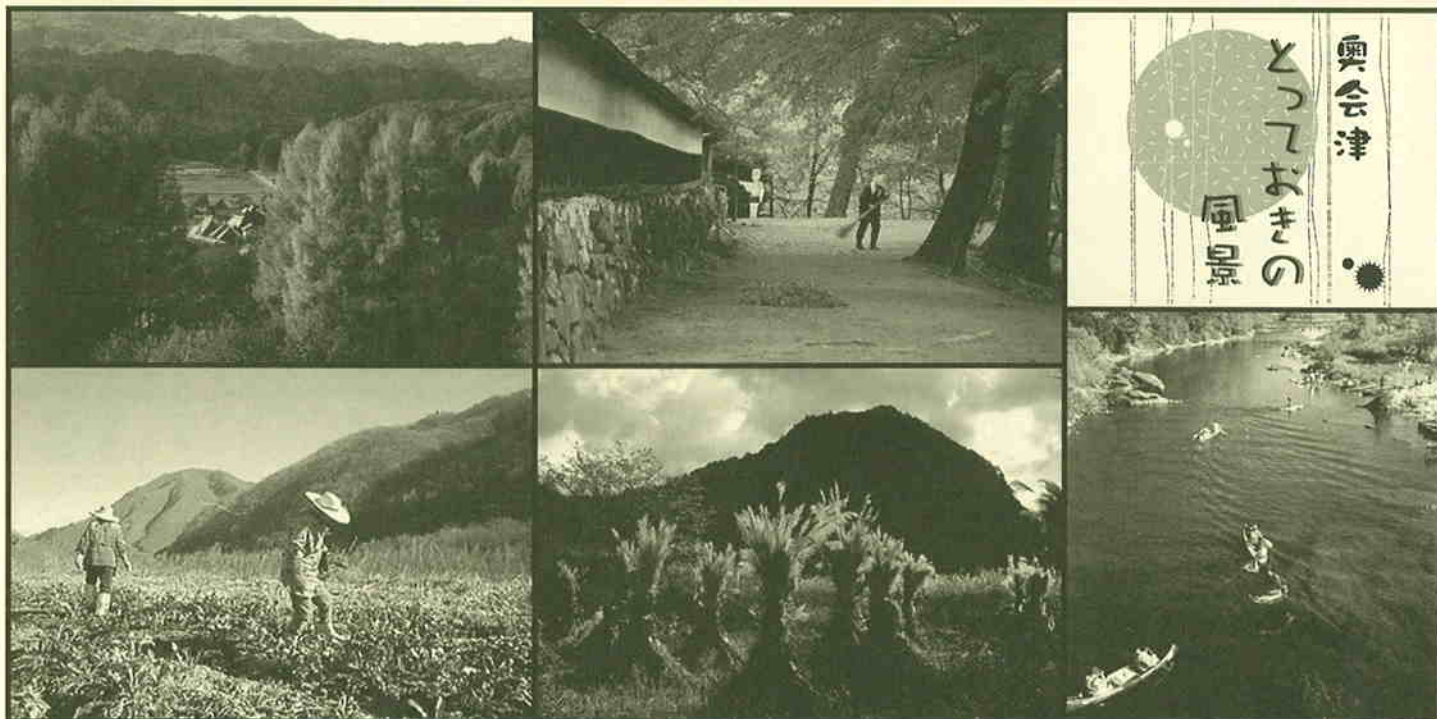
ZONE5

電源開発による暮らしの変遷が、写真と映像で紹介。ダムに沈んだ集落のかつての姿も見る事ができる。



ZONE4

かつて只見川で盛んに行われた「鉄砲流し」や「サナガシ」という木材運搬の技法、堰普請やマスの捕獲法などが模型で紹介されている。



奥会津
とっておきの
風景

虫供養

(三島町)

鉦かねの音が、なだらかな坂道をゆつくりと登ってくる。坂の両側の家々からは、鉦かねを合図に三々五々村人が集まり、やがて列を成して一本の桜の木の下へとやってくる。手にした花、線香、供物が捧げられ、敬虔けいけんな祈りのあとは供物が御護符として配られる。知らず知らず殺した虫たちの霊を慰める美しい行事は、早戸地区の方々によって連綿と引き継がれてきた。今夏、彫刻家と村人とが合同で作った供養塔が完成した。虫たちの霊は、更なる安住の地を得たようだ。

写真：三島町早戸 平成13年11月10日



SPOT2 そば祭りリレー

各町村それぞれが、極めつけの趣向を凝らした新そばを愛でる宴。新そばの香りと味に彩りを添えます。奥会津散策の秋の醍醐味。

福島県奥会津

柳津町	柳津博士高原新そば祭り	
	日時：10月20日(日)10:00~15:00	料金：大人1800円・子供1000円(予約)
三島町	みしま蕎麦彩宴	
	日時：10月25日(土)11:30~	料金：2000円(予約)
金山町	こぶし館のそばまつり	
	日時：11月30日(日)10:30~13:30~(二部制)	料金：大人3200円・子供2100円(予約)
昭和村	昭和秋味まつり	
	日時：10月27日(日)12:00~14:00	料金：大人3000円・子供2000円(予約)
只見町	新そば祭り	
	日時：11月8日(土)	料金：大人3500円(中学生以上)・小学生2000円
南郷村	南郷新そばまつり	
	日時：11月8日(土)11:30~13:30~(二部制)	料金：大人3000円・子供1500円(予約)
舘岩村	会津高原たていわ新そば祭り	
	日時：10月25日(土)11:00~12:30-13:30~15:00	料金：2500円(当日券2800円)
檜枝岐村	新そば祭り	
	日時：11月8日(土)	料金：大人3500円・子供2500円(予約)

奥会津の
観光スポット

SPOT1 SLが走ります！(JR只見線)



●運行日：10月11日(土)~13日(祝)
10月18日(土)~19日(日)

*運行区間はJR会津若松駅からJR只見駅(1日1往復)
*会津若松駅から会津川口駅までは全席指定(大人1,620円)

●時 間：下り 会津若松駅発 9:07
上り 只見駅発 13:40

SL蒸気機関車が旧型客車3両を引いて走ります。
懐かしい汽笛と白煙に会うために、今年も鉄道ファンがやってきます。



秋野菜の煮物・キクラゲのくるみ和え

●秋野菜の煮物
何と言っても、旬の大きな里芋の存在感に圧倒される。里芋は、秋野菜の王者の貫禄がある。夏に収穫するじゃがいもと共に、越冬して食卓を豊かに支えてくれる頼もしい存在。昆布とちくわの旨味を吸い込んだ野菜たちは、それぞれに深い味わいを奏でている。新鮮な秋採れ野菜の醍醐味は、やはり煮物。体も心も温まる。



里芋は茹でこぼしてぬめりを取り、大根、いんげんも茹でこぼしておく。結び昆布、かつおの出汁に、いんげん以外の材料を入れて醤油、味醂を加えて味をふくませ、最後にいんげんを加える。

●キクラゲのくるみ and え
こげ茶色のきくらげにからまるふんわりとした白い色。本来はくるみだけであるのだが、金山町料理名人のひとり中丸さんのアイディアで豆腐も混ぜてある。昔は山から取っていたきくらげのコリツという食感、くるみのほんのり甘い味、豆腐のほんわかした味。素材そのものの味が、それぞれを邪魔せずに優しく絡まり合っている。



乾燥きくらげを水で戻して一口大の大きさに揃え、挿たくるみに塩、砂糖で味付けして和えるだけ。豆腐を挿り入れると、味も食感もさらにまろやかになる。甘さの加減が決め手。

博物館・美術館めぐり やないづ町立斎藤清美術館(柳津町)



平成7年に文化功労者に顕彰された版画家・斎藤清画伯(1907~1997)の作品を展示している美術館。斎藤画伯の版画世界が広がる只見川の河畔に建つ。海外での高い評価が日本の現代版画の地位を高める原動力になったともいわれている。斎藤画伯の晩年は、会津の風景の中で創作が中心となった。
館収蔵作品800点記念「斎藤清 秋模様」が開催中。(12月14日)まで
休館日：毎月曜(月曜が祝祭日の場合はその翌日)
観覧料：一般500円、高・大生300円、小・中生200円(団体あり)

歳時記の郷 奥会津 全国俳句大会(檜枝岐村)



8月30日(土)・31日(日)の両日、檜枝岐村の東雲館を会場に、第8回歳時記の郷奥会津俳句大会が開かれました。表彰式に続いて選者の先生方の俳句談義を傾聴したあと、鎮守神社舞殿に移動。三番叟の舞で舞台を清めての藤の和大神楽を鑑賞しました。檜枝岐歌舞伎の一端に触れた郷土芸能に、参加者から感動の声が寄せられています。

デジカメ教室(三島町)



9月13日(土)・14日(日)、昆虫写真家の海野和男先生を迎えて小学生を中心としたデジカメ撮影教室が開かれました。一人一台づつ貸し出されたカメラを手に、レンズを通して見る新たな世界に心躍らせた2日間。奥会津は360度素材の宝庫です。

いづみと告知板

歳時記の郷・奥会津のCMを放映しています!
九月二十日から十月の二十日まで、テレビ東京テレビ新潟で、歳時記の郷・奥会津のCMが放映されています。
現在は通年篇と秋篇で、それぞれ十五秒CMです。流域九町村の写真と映像で構成されています。
残念ながら県内では見ることができませんが、ホームページ上で見る事ができるようになりますので、どうぞお楽しみください。

水の郷ただみ アウトドアフェスタ開催!

只見町の青少年旅行村で、サマーフェスタに続き、オートキャンプフェスタを開催します。二泊三日で、野山の散策やきりぎりすの狩り、民芸品作り、その他奥会津物語など盛りだくさんの内容です。ご家族で、またグループで遊びに来ませんか。

《日時》10月17日(金)~19日(日)
《場所》只見町青少年旅行村・いこいの森
《宿泊料金》お一人様 6800円~12800円
《申込み・お問合せ》 0241-82-2432

※また、一泊二日でのご希望の方も、お気軽にお問い合わせ下さい。

ホームページをリニューアルしました!

十月一日に、協議会のホームページが新しくなりました。全体的には落ち着いた雰囲気のパージにしています。情報を七つの項目に分け、今までよりも、見やすく、また使いやすくしていこうと考えました。ホームページでは、皆さんに協議会の活動内容をもっと知って頂き、ご意見や要望を頂けるようにしていきますので、みなさんも是非見に来てください。

表紙の言葉

不作の年の米は、ことさらに尊い。刈り上げの喜びの餅は、まず神棚に捧げられる。感謝と祈りは人々に同じ姿勢を作らせてきた。供物を捧げ、頭を垂れる。各地域でそれぞれに設けられる刈り上げ祭りには、必ず真っ白くて丸い餅が捧げられる。